

謹賀新年

年頭のごあいさつ



和寒町長 奥 山 盛

新 年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい令和4年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスが猛威を振るい、緊急事態宣言下における外出の自粛やマスクの着用・手洗いの励行、「三密」を避ける行動など我慢が求められる一年となりました。

新 型コロナウイルス感染症予防対策については、ワクチン

ン集団接種が9月30日で終了し、その後は3市町連携のもと土別市において、引き続き希望者への接種を行っているところであります。来月1月からは、追加接種を実施することとしており、接種案内や接種券を順次送付する準備を進めており、今後も、希望される方ができる限り適切な時期に接種を受けられるよう努めてまいります。

和寒中学校において、教職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが11月11日に判明したことから、翌12日を臨時休業として濃厚接触者と低リスク対象者のPCR検査が実施され、全員の陰性が確認されたところであります。このたびの対応については、保護者に対する情報提供のあり方など反省すべき点もありましたので、中学校や教育委員会との連携を改めて確認したところであります。

町の対策としては町内消費落ち込みの早期回復と地域経済の活性化を町民全体で取り組み、本町の元気を取り戻すことを目的と

した、40パーセントのプレミアム付き「新型コロナウイルス対策 和寒元氣！プレミアム応援券」を、9月29日から販売し、総発行数1万6千8百冊は11月18日に完売となったところであり、当事業が町内消費の下支えとなつて経済対策に寄与しているものと考えております。

基

幹産業の農業は畑作について、7月9日から8月6日まで29日間、雨が降らず、気温も7月14日から8月7日まで連日30度を超えるなど、過去に例をみない異常な干ばつに見舞われ、収量は軒並み平年を下回る作柄になりましたものと考えておりますので、今年は豊作を期待したいと思っております。

また、イベントでは北海道の開拓に貢献された江戸時代の探検家で、本町にもゆかりのある近藤重蔵の生誕250周年を記念し、10月9日に開催した「近藤重蔵天塩越えフットパス」は、秋晴れの爽やかな天候の中、町内外から約50名の参加者のもと、近藤重蔵ゆかりの地碑から塩狩峠の旧国道を巡って蘭留側に到達し、約3・5キロの天塩越えを実施したところであり、町内外の多くの方々

に本町の塩狩峠にゆかりのある「近藤重蔵」を通じて、当時における世界の中の日本や、蝦夷地と呼ばれていた北海道を学ぶ機会として、関連する事業を実施できたものと考えております。

診

療所の内科医師退職に伴い、8月以降、出張医により対応してきておりますが、医師確保に係る事情から毎月2日程度、診療開始時間が遅くなつております。

診療所を利用されている町民の皆さまには、ご不便をおかけしていることに対してお詫び申し上げます。

なお、これまで常勤医師の確保については鋭意取り組みできたところではありますが、先般、協議を続けてきた医師の内諾をいただき、来月4月以降、常勤医師2名体制の目途がつかまりましたので、ご報告いたします。

結

びに、町民の皆様にとつて、希望に満ちて迎えた新年が限りなく明るい年になりますようにご祈念申し上げ、年頭にあたつてのご挨拶といたします。